

# きずな

2024 7 July

今号の題字

宮崎市立憶中学校 3年

三輪 真幸さん



指します。  
【教頭 鶴丸夕子】

令和6年度も自主的な生徒会活動を進めながら、地域に愛される憶中学生を目指します。

自律した生徒の育成を目指し  
地域と一体となって取り組む憶中

宮崎市立憶中学校(田原誠一校長・生徒数647名)は、宮崎市の沿岸部に位置する大規模校です。校区内には大型ショッピングセンターや商業施設が多数あり、近年住宅も増えている地域です。

本校生徒会はスローガン「日々躍進

吹かせ憶の風 輝く未来を切り開け」を

掲げ、校内での各委員会活動をはじめ、校

区内の高齢者世帯を訪問し年賀状を届け

たり、一ツ葉海岸を清掃したりというボ

ランティア活動に積極的に取り組んでい

ます。また、ヒマワリを育てその種を福島

へ送る活動も継続しています。

令和6年度も自主的な生徒会活動を進めながら、地域に愛される憶中学生を目指します。

## CONTENTS

- ② 宮崎県PTA連合会定期総会
- ③ 宮崎県PTA連合会役員紹介
- ④ 国内研修  
コラム「親がめ子がめ」
- ⑤ 日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会  
ロゴマーク募集
- ⑥ トピックス「えびの市立飯野中学校」  
編集後記



宮崎県PTA連合会  
ホームページ



編集・発行: 宮崎県PTA連合会

発行責任者: 森山 慎作

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

<http://www.miyazakikenpta.com> E-mail: [mken-pta@io.ocn.ne.jp](mailto:mken-pta@io.ocn.ne.jp)

# 子どもを真ん中に、 共に学び、共に成長できる PTA活動を推進しよう

## ～家庭・学校・地域との連携・協働をととして～

令和6年5月25日(土)宮崎観光ホテルにおいて、県内各地区の代表が出席し、宮崎県PTA連合会定期総会が開催されました。

森山会長はいささつの中でPTAの歴史を振り返り、「存在意義・目的を再確認し、子どもたちのためだけではなく、大人の学びも含めた意義のある場にしたい」と述べました。

続いて、令和5年度の事業報告・決算報告並びに監査報告のあと役員改選では退任役員に感謝状の贈呈、新旧役員のあいさつが行われました。

また、昨年度に引き続き、「家庭教育の推進」「心の教育の推進」「子どもの健全育成活動の推進」「研修活動の推進」「家庭・学校及び地域社会等との連携・協力の推進」「広報活動の推進」の6つを活動目標に掲げ、家庭・学校・地域が一体となつて、ポストコロナの時代に即応した活動を推進していくことなどを盛り込んだ令和6年度基本方針案や事業計画案・予算案を協議し、すべての議案が承認されました。



### 基本方針

宮崎県PTA連合会は、保護者と教職員が一体となって不偏不党、中立公正を旨とする社会教育関係団体として、すべての子どもたちが安心して家庭で、学校で、地域で生活することができる環境づくりに努めることを目的とする。

市郡PTA(連絡)協議会(単位PTA)との連携を図るとともに、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、子どもたちの健全育成とPTA会員の資質の向上及び本県教育の振興を図りたい。

また、会員一人一人がPTAの一員であるという当事者意識をもち、会員相互の信頼と協力のもと、家庭・学校・地域が一体となって、ポストコロナの時代に即応した活動を組織的に推進するとともに、あらゆる教育の課題に対して手を携えあつて乗り越えていきたい。

さらに、PTAの任意加入等に係る問題に関しては、様々な情報を基に、県PTA連合会役員会・理事会やリーダー研修会等において研修や協議を深めていきたい。

### 令和6年度 活動目標

- ① 家庭教育の推進
- ② 心の教育の推進
- ③ 子どもの健全育成活動の推進
- ④ 研修活動の推進
- ⑤ 家庭・学校及び地域社会等との連携・協力の推進
- ⑥ 広報活動の推進

### 令和6年度 理事・監査委員

理 事		教職員代表理事	
山本 裕也	〈東諸県郡〉	岩切 靖代	〈小学校〉
井上 英彦	〈日南市〉	原田 昭彦	〈中学校〉
木原 一	〈北諸県郡〉		
吉藤 勇生	〈小林市〉		
大門 哲也	〈えびの市〉		
川平 典生	〈西諸県郡〉		
阿萬 一皓	〈西都市〉		
三輪 隆之	〈児湯郡〉		
本田 貴規	〈東臼杵郡〉		
佐藤 尊文	〈西臼杵郡〉		
		監 査 委 員	
		太田 智章	〈日南市〉
		齋藤 禎	〈小林市〉
		安藝 隆典	〈西都市〉

### 令和6年度 感謝状贈呈者

赤池 智和	〈県P副会長・都城市〉	芝田 和之	〈県P理事・西諸県郡〉
松本 祐子	〈県P副会長・宮崎市〉	富永 健太	〈県P理事・東諸県郡〉
中竹 佳奈	〈県P副会長・児湯郡〉	安藝 隆典	〈県P理事・西都市〉
荒木 大介	〈県P副会長・延岡市〉	金丸 孝博	〈県P理事・児湯郡〉
田代 好秀	〈県P副会長・えびの市〉	椎葉 辰徳	〈県P理事・東臼杵郡〉
太田 智章	〈県P理事・日南市〉	菊池 健太	〈県P理事・西臼杵郡〉
齋藤 禎	〈県P理事・小林市〉	田原 誠一	〈教職員代表理事・中学校〉
馬渡 隆博	〈県P理事・北諸県郡〉	黒木 政信	〈県P前事務局長〉



令和6年度

# 宮崎県PTA連合会役員紹介



会長

森山 慎作

(宮崎市PTA協議会)

本年度、会長を務めさせていただきます。宮崎西高附属PTAの森山です。会員の皆様には、日頃よりPTA活動への積極的な参加、並びに本連合会の活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度、私たちは「子どもを真ん中に、共に学び、共に成長できるPTA活動を推進しよう」家庭・学校・地域との連携・協働をとおして「をスローガンに掲げ、すべての子どもたちが安心して生活し、伸び伸びと成長できる、そんな環境づくりを目指して、保護者・教職員・地域が一体となって活動に取り組んでいけるよう努めてまいります。

そして、各市郡協議会や単位PTA

Aの活動を支え、まとめることによるスキルメリットを最大限に生かすと共に、目まぐるしく変化する時代に即したスピーディな対応で、皆様に必要とされる宮崎県PTA連合会となるよう役員一同、一所懸命取り組んでまいります。何卒ご協力をお願いいたします。



副会長

二見 志信

(宮崎市PTA協議会)

子どものお陰で活動できるPTA。まずは自分自身が県域の状況を知り、多くの方と出会い・繋がり・学びを深め、子どもたちのより良い環境づくりに活かしていきたいと思えます。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長

黒木 剣二郎

(宮崎市PTA協議会)

子どもたちと向き合うことのできる環境づくりを考え子どもと共に成長できる親の在り方を創造していきたいです。しない選択よりもできるように考える子どもたちを育てていきたいです。そのためには、保護者の協力が必要不可欠です。みなさんのご協力をお願いいたします。



副会長

竹原 英智

(串間市PTA協議会)

多様性が求められる新しい時代の課題に対して、PTAの本質を常に心に、誠心誠意努めてまいれる所存です。子どもたちの健全な成長と明るい未来を願い、私たち保護者も共に学べる環境を創造していきたいです。



副会長

吉永 健一

(都城PTA連絡協議会)

いろいろと変化し続ける現状に対して、私たち大人が学び続けることが、子どもたちにお手本を見せることにならなければならないと思います。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長

友碇 将徳

(延岡市PTA連絡協議会)

今年度、第66回宮崎県PTA研究大会延岡市・西臼杵郡大会が延岡市で開催されます。皆様に「参加して良かった」と思っていただけの大会の実現を目指します。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長

葛西 了一

(日向市PTA協議会)

PTAにおいて様々な課題があるかと思えます。PTAの原点に立ち返り、その意義を再認識する良い機会だと考えます。新しい時代の課題に向き合い、魅力あるPTAを目指して取り組んでいきたいと思えます。

宮崎県PTA連合会は

ケータイ・スマホ 夜9時  
電源OFF運動

を推進しています。

子どもを守るネットモラル5か条

- ① 学校や家庭でのルールを守ろう
- ② メールやライン等で人の悪口や傷つくことは書かないようにしよう
- ③ 人の住所や電話番号等の個人情報は書かないようにしよう
- ④ ケータイ・スマホは、夜9時になったら電源を切ろう
- ⑤ 何かトラブルがあったらすぐに相談しよう

児童生徒のソーシャルメディアの利用は「保護者責任」と考えます。その利用に際し、宮崎県PTA連合会としての基本的な考えを示し、学校や関係機関と連携してネットモラル・メディアリテラシー教育を推進します。

(児童生徒)

- インターネットは世界中の人が見えています。
- 自分はもちろん、友だちや知人の個人情報に関する書き込みはやめましょう。
- 家族の名誉や人を傷つける行為は絶対にしてはいけません。
- 利用しない、見ない、気にしないことも勇気だと知りましょう。
- トラブルに巻き込まれたら、先生や保護者に相談しましょう。

(保護者)

- 情報教育に関する保護者勉強会に参加しましょう。
- インターネット接続機器における保護者の責任を認識しましょう。
- 困ったときは、みんなで話し合ひましょう。
- 家庭内のルールを決めましょう。
- 私たちが考える本場のコミュニケーションは、FACE to FACEです。



ネットモラル・教育の推進  
メディアリテラシー

# 国内研修

沖縄県糸満市ならびに  
島尻郡渡嘉敷村

令和6年3月26日(火)～30日(土)  
主催 日本PTA全国協議会

## 挑戦することの大切さ

延岡市立西階中学校 永田 香乃

私はこの研修に参加したことで、出会うことのなかった全国の中学生と出会うことができ、普段できないような体験や、たくさんの方のことを学ぶことができました。初めて会った人たちと様々な交流をしていく中で、自ら気持ち、考え、行動することが、とても大切だと思いました。いろんなことに挑戦し、共に協力しながら乗り越えていくことで、仲間と呼べる友だちができたことが、私にとっては一番の宝物になりました。

二日目の講話で、沖縄戦での悲惨な出来事を聞き、私は今の状況が、どれだけ幸せなことなのかと実感しました。学校に通えること、毎日ご飯が食べられること、当たり前だと思っていたことと全てが、決して当たり前ではないと思えました。両親はもちろん、学校や多くの支えがあつてからこそこの当り前に、私はもっと感謝しなければいけないと思えました。

私が一番楽しみにしていた海洋研修では、シュノーケリングをしたり、初めて見るエメラルドグリーン



の海にとっても感動しました。夜にはキャンプファイヤーをしたり、初めて会った人たちでしたが、みんなにもきず

なが深まり、本当に来て良かったと思えました。

沖縄での五日間は、何事にもまず挑戦すること、人とのつながりはとても大切だと教えてくれました。少しの勇気と、チャレンジすることで、私の未来が変わるのだと。

最後に、この貴重な体験をさせていただいた全ての関係者の皆様に感謝したいと思います。ありがとうございます。



## 国内研修で学んだこと

新富町立富田中学校 鶴田 絆

僕は、三月二十五日から五日間国内研修で沖縄県に行ってきました。この研修で僕はたくさんの方のことを学んだので、そのことについて三つ紹介したいと思います。

一つめは、集団行動です。集団行動は、不自由なイメージがあり、あまり好きではなくどちらかというと苦手でした。でも、様々な体験活動を通してみんなと協力し合ったり、助け合ったりして初めて集団行動の大切さに気づき、僕たちが生活していく上で必要なことだと感じました。

二つめは、コミュニケーションです。初めて行く場所です。初めて出会う人たちが、とても緊張してしま

たが、勇気を出して声をかけてみるとみんな優しく接してくれ、二気に緊張感が解けました。方言や文化、生まれ育った環境が違う人たちと分かり合うためには、余裕をもって相手の話を聞き、相手を理解することがコミュニケーションをとるには大切であると分かったため、今までの自分プラスにできる力を発見できました。



三つめは、幸せについてです。研修四日目にあった活動で、幸せとは何か？という課題に挑戦しました。紛争や戦争が起き、飢餓に苦しんでいる子どもたちが世界にはたくさんいます。僕たちが当たり前にご飯を食べ、当たり前前に家族や友だちと笑い合っていることが、できる。そんな当たり前な生活の時間、今この一瞬一瞬がどれだけ幸せなのかをあらためて知ることができました。

最後に、この研修で様々な体験や活動、グループでの話し合いを通して、仲間の大切さやルール・マナーの重要性、誠実に行動することの意味を理解し、最後まで和気あいあいとした雰囲気、無事終わったのは、研修に関わってくださった皆様、現地の方たちの協力のおかげだと思っています。充実した素晴らしい時間を過ごせたことに感謝いたします。



## 活かし方の工夫

都城市立高城小学校 前PTA会長 野崎 優子

昨年度まで、以前のような活動ができなくなり、試行錯誤の日々が続き、今は、いつの間にか手探りで考えることにも慣れてきました。活動できない理由が複雑であるが故、簡単だと思っていたことでさえ伝えることが難しく、言葉選びにはエネルギーを注いでいました。

私は、PTAで10年間、執行部と専門部で活動させていただきましたが、PTAを取り巻く環境も大きく変化してきました。ここ数年は、どのように人とつながってPTA活動を維持していけばいいのかわからなくなりました。しかし、「この状況をどう活かすのか」と考える作業が、結果として自分自身の大きな成長にもつながったのだと思います。そのためにこれまでの経過が与えられたのだと心底思います。

こうなれたのも、周りで支えてくださった役員の皆様、保護者の皆様、先生方、地域の方々、そして私たちの宝物である子どもたちのおかげです。PTA活動を通して得られるものは数えきれないほどあり、学校だけでなく地域の方々からもたくさんの温かさをいただきました。感謝という言葉だけでは足りないくらいの大感謝です。本当にありがとうございました。





## 第71回日本PTA九州ブロック研究大会

小・中学生の  
みなさんへ

# 宮崎大会

## ／ロゴマーク募集！／



(参考) 2016年みやざき大会ロゴマーク

### 1 目的

宮崎県PTA連合会では、令和8年度に開催予定の研究大会を盛り上げるとともに、宮崎県PTA連合会の組織としての一体感を高めるためにロゴマークを募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

### 2 募集方法

- (1) 県内の全小・中学生に公募し、その中から採用します。
- (2) 作品は、本人の創作、未発表のものに限ります。線は濃くかき、原画には色を塗ってください。
- (3) 入賞作品には、専門家による一部修正が入る場合があります。
- (4) 公募期間は、令和6年8月26日(月)～令和6年9月13日(金)です。
- (5) 応募用紙は、上質紙(A4)とし、宮崎県PTA連合会ホームページからダウンロードできます。宮崎県PTA連合会宛てに郵送してください。

### 3 採用

応募原画の中から、1点を宮崎県PTA連合会役員会で決定します。

採用者には、図書券(1万円)を進呈します。

### 4 公表

採用者とデザインは宮崎県PTA新聞「きずな」で公表します。

### 郵送先

住 所 〒880-0803  
宮崎市旭1丁目3番10号 婦人会館2F  
宮崎県PTA連合会  
電 話 (0985) 22-3081

## 第69回日本PTA九州ブロック研究大会



# 長崎大会

学びを実践へ！

～ 集まろうで 語り合おうで やってみようで ～

分科会

令和6年10月26日(土)

出島メッセ長崎

全体会

令和6年10月27日(日)

出島メッセ長崎

## 第72回日本PTA全国研究大会



# 川崎大会

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から  
～ 活かそう「縁」の力 ～

1 日 目

令和6年8月23日(金)

川崎市とどろきアリーナ

2 日 目

令和6年8月24日(土)

川崎市とどろきアリーナ

## information

令和6年5月25日(土)  
《協議内容》  
・令和5年度事業報告  
・令和5年度収支決算・監査報告  
・令和6年度役員改選  
・令和6年度基本方針・事業計画  
・令和6年度収支予算

宮崎県PTA連合会 定期総会

令和6年6月14日(金)  
《協議内容》  
・令和5年度事業・決算・監査報告  
・第68回九州ブロックPTA研究大会  
・佐賀大会決算報告  
・令和6年度役員の選出  
・令和6年度努力目標・事業計画・予算

九州ブロックPTA協議会 定期総会

令和6年6月19日(水)  
《協議内容》  
・令和5年度事業報告  
・令和5年度収支決算  
・令和6年度理事及び監事の選任  
・感謝状贈呈

日本PTA全国協議会 定時総会

## 志を高く

～常に飯野魂（おそれない心 ねばりぬく心 いたわる心）を胸に～

「えびの市立飯野中学校」（黒葛原 武校長 生徒数195名）

飯野中学校は、1947年に開校し、翌年に飯野青年学校の校地・校舎があった今の場所に移転されました。開校と同時にできた校章は「飯中」を囲む「稲穂」がデザインされています。

古くから米の産地である飯野を象徴し、実るほど頭を垂れる稲穂のように、人間性豊かな生徒の成長を願う気持ちが届められています。鉄山・大平・高野分校の開校と、大河平中学校との統合を経て、1969年に現在の飯野中学校になりました。



飯野中学校校章

生徒玄関には「飯野魂」の記念石碑が鎮座していますが、これは「おそれない心 ねばりぬく心 いたわる心」の精神で、毎日この石碑に見守られています。



「飯野魂」石碑

## 地域ぐるみで防災意識を高める

本校では年3回学校運営協議会を開催しています。その中で、能登地震や交通事故等を含め、あらためて生徒の安心・安全な生活の確保について考えていくこと、地域においても引き続き、生徒を見守ってい

くこととなりました。

1968年「えびの地震」や、2021年豪雨による浸水などの教訓を生かすために、各自治会単位で行われる防災訓練等には、生徒や保護者に対して学校からも参加を啓発することの必要性を感じました。

## 小中高PTA・生徒による門松づくり

毎年12月に、小中高合同で門松を作っています。竹や植栽は地域の方に提供して



門松づくり

いただき、竹を切って割るところから始め、慣れない工具を精一杯使って製作に励みました。最近のはこぎりやなたなどを家庭で見かけなくなりましたが、こういった機会に手工具を使うのも勉強です。

作業後は、飯野中の先輩PTAが調理してくだだった「水餃子」「焼きそば」がふるまわれ、精一杯作業した後のごちそうは特別美味しかったです。

## 地域学校協働活動支援委員会による授業支援

本校では、専門的な知識や技能を有する地域人材を授業で積極的に活用しています。

国語では、県の習字コンクールに全員挑戦するために、JA女性部長の松永亮子さ

んと地域学校協働

活動支援員に支援をいただいています。美術では、日本習字を専門にされている宮田慶子さんに水墨画の授業支援を、家庭では「地域素材を使った調理」と題して、JAえびの市女性部の協力を得ながら調理実習を行いました。



美術「水墨画」学習



家庭科「調理実習」

## 飯野地区小中高一貫教育「あいさつ運動」

飯野地区小中高一貫教育の目標は「ふるさとを愛し、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成」です。平成15年に文科省の指定を受け、実践研究も10年を超えました。

あいさつ運動は、

一貫教育の「徳の向上部会」の主催で、年間2回行われます。各学校の代表児童生徒が、朝から正門に立って元気よくあいさつをしています。

【教頭 谷口 勇人】



朝のあいさつ運動

## 編集後記

東京ディズニーシーの新エリアオープンを心待ちにしていた子どもたち。わが家では毎日のように情報をチェック中。こんなに見ていたら、感動が減るのではと思うのですが…。いつか行ける日を楽しみにしながら過ごしてついてもいいです。

田中

大河ドラマ「真田丸」のオープニングテーマを三浦文彰さんのヴァイオリンで聴くために、国際音楽祭に行きました。生で聴くと、鳥肌がたつほど音色が研ぎ澄まされており、とても感動しました。どつぱりと音楽の世界につかった1日でした。子どもたちはどう感じたかな？

平田

娘が小学生の時に竹馬を作るイベントに参加した時のこと。多くがラフな格好で座る中、きちんと正座して講師の話聞く娘。「礼儀正しいな」と思いながら視線を下ろした瞬間。足の裏に大きな穴を発見。なぜそれを選んだのか。数ある靴下の中からなぜそれを。それから穴あき靴下は掃除にも回すことなく捨てることにしました。

西村

7月は父の誕生日です。休みになると海や山にキャンプに連れて行ってくれました。自然の魅力を五感でたつぱりと味わわせてくれました。ものより思い出この春、父はたくさんのお思い出を遺して逝きました。父の年齢を追い越せるように「一日一日を大切に生きたいです。」

田ノ上

## 令和6年度編集委員会

## 編集長

田中 泰子（大塚中）  
平田 美名子（東大宮小）  
西村 明子（宮崎西中）  
田ノ上 久美子（住吉南小）